

(要旨)

## 定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

|         |   |                |     |
|---------|---|----------------|-----|
| 年 度     | 令和4年度   | 回 数            | 第8回 |
| 日 時     | 令和4年10月11日  | 午前9時30分～11時25分 |     |
| 場 所     | オンライン開催   |                |     |
| 出 席 者   | 渡部市長 野崎副市長 松谷副市長 村木教育長<br>南部議会事務局長 平岡経営政策部長<br>原田経営改革・情報化担当部長 荒井総務部長<br>東村地域創生部長 野口市民部長 河村防災安全部長<br>山田防災安全部総合調整担当部長<br>清水環境資源循環部長 武岡健康福祉部長<br>瀬川子ども家庭部長 粕谷まちづくり部長<br>山下都市計画担当部長 田中教育部長<br><br>欠席者:なし  |                |     |
| 次 第     | 1. 開会<br><br>2. 協議事項<br>(1)令和4年9月定例会を振り返って<br>(2)東村山市市制施行60周年記念事業の概要について<br><br>3. 報告事項<br>(1)個人情報保護法の改正に伴う新条例の策定と今後の庁内の対応について<br>(2)令和5年度 組織定数ヒアリングについて<br>(3)研修の実施(仮:こども政策の動向と今後の課題)について<br>(4)令和4年12月定例会提出予定案件・所信表明事項及び原稿提出について<br><br>4. その他<br><br>5. 閉会 |                |     |
| 会 議 経 過 | 次頁参照  |                |     |



## 1. 開会(市長あいさつ)

おはようございます。今年度の後半における全庁的な課題については、3日の庁内放送で申し上げたが、放送内容を基に5点ほど考えを共有する。

1点目は、ワクチン接種である。12歳以上の年齢の方が全員対象となるオミクロン株に対応した2価ワクチンの接種を10月1日からワクチン接種を開始している。引き続き、全庁対応を行うことで、安全かつ円滑な接種を進めていきたいと考えている。

2点目は、当初予算についてである。先週30日に臨時経営会議で令和5年度予算編成方針を決定し、全職員に向けて示達並びに依命通達を行ったところである。繰り返しになるが、令和5年度の予算は、コロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化等に伴う原油価格・物価の高騰が深刻化する状況を踏まえ、予算編成をしていかなければならない。特に我々の切実な課題となるのは、光熱費、その他物価高騰をどのように見込み予算に反映させていくか、原油・物価高騰で大変な状況にある市民の皆さんの生活あるいは地域経済をどう守り、どう下支えしながら、中長期的な展望を描いていくのか、まさに東村山市政にとっては正念場の予算編成と受け止めているところである。

繰り返しになるが、ぜひ各部長においては、物価高騰、コロナ禍等々、厳しい状況にある市民生活と地域経済の実態の把握に努めて、今、市が何をやらなければならないのか、有効な手立てを講じていく、それがさらには東村山市の持続可能なまちづくり、魅力・活力あるまちづくりに繋げていく、そういう視点で、ぜひ、それぞれの部の来年度の事業計画を考えていただいて、適切に予算要求をしていただきたい。

今回の予算については、いつも3年程度と申し上げているが、実施計画は3年ということになるので、できれば5年とか10年ぐらいのスパンを考えていただいた中で、3年間の実施計画事業を組み立てて、令和5年度の予算要求をお願いする。部長には、先々を見据えた構想をぜひ今度のプレゼンテーションの中でお示しをいただきたいと考えている。本当に大変な状況で守りつつ、どうやって次に繋げていくのか、そういう視点で考えていただきたい。

3点目は、補正予算についてである。各部で検討が始まっている国の第2次補正予算による合計6千億円の価格高騰重点支援地方交付金の活用については、一般会計補正予算第5号として、おそらく12月定例会の初日ないし最終日にお諮りすることになる。それから、臨時国会が始まり、総理大臣は今月中には30兆円規模の追加の経済対策を取りまとめると旨を発言している。これは、臨時の市民向けの交付金、事業者向けの給付金等も想定され、さらに基礎自治体にも一定額の交付金が追加交付となるため、これを受けて補正予算を編成しなければならない。国の取りまとめのタイミングが分からないため、おそらく議会にお諮りするのは3月の初日をターゲットに、国の補正予算を活用して、臨時の市としての経済対策を実施していくことになると思う。3号補正以降、4号補正は非課税世帯等に対する給付金、5号補正、6号補正、そして令和5年度の当初予算ということで、まさに3段ロケット並みの手法で、これから編成していかなければならない。補正予算と令和5年度当初予算をうまく活用して、繰り返しになるが、市民生活、地域経済を守りつつ、東村山の次に繋げていく、持続可能な活力・魅力あるまちに向けて繋

げていくような予算の考え方をこれから後半戦していただく必要があると思っているので、よろしく願います。

4点目は、東京都・東村山市合同総合防災訓練に向けた取り組みについてである。先日、会議があり、合同総合防災訓練は、訓練の方法等が固まりつつある。これも全庁体制で押し進めなければならないので、各部の協力をお願いする。

5点目は、公共施設再生についてである。いよいよ公共施設マネジメント課では、ディスカッションペーパーを用いて、各地域や様々な関係団体との協議に入っていく。施設を所管しているそれぞれの部署においても、その趣旨をよく理解して取り組むこと。個々具体的な議論になると、総論賛成でも、いろいろ意見が出る可能性もある。各施設を保有している担当所管と公共施設マネジメント課が、連携を密に取りながら、円滑に公共施設再生が進むように願います。また、DXの推進など、様々な課題あるが、全庁で力を合わせて頑張っていきたい。

本日の議題にあがっている市政施行60周年は、過去を振り返りつつ、未来に向けての展望を描くという絶好の機会になる。特に60周年は、100周年まであと40年ということになる。経営会議のメンバーが現職のまま100周年を迎えることはないが、最近入庁した職員もしくはこれから入庁してくる職員は、定年延長を考えると100周年を現役職員のまま迎えることになる。そういう意味で、60周年を契機に100周年をどのように、東村山市はどうなっていくといいのか、子ども未来会議や若手職員を中心にしながら、100周年に向けて、未来年表を作成することができたらいいと考えている。現役の職員が100周年を迎えることもありえることも考えながら、若い力をうまく引き出して、次の東村山を築くパワーにかえていけるように、特段の協力をお願いする。

令和4年度第3四半期、後半戦をぜひ皆さんと力を合わせて、この困難な状況を乗り越えて明るい未来を築いていきたい。

## 2. 協議事項

### (1) 令和4年9月定例会を振り返って

議案審議や質疑対応等について9月定例会を振り返り、各部の所感や課題を共有した。

### (2) 東村山市市制施行60周年記念事業の概要について

令和6年度に市制施行60周年を迎えるにあたって、周年記念事業の基本コンセプトや事業スキーム等の事業概要を協議した。

## 3. 報告事項

### (1) 個人情報保護法の改正に伴う新条例の策定と今後の庁内の対応について

個人情報保護法の改正により必要となる、東村山市個人情報保護条例の廃止及び同法施行条例の

策定に関する進捗状況と、今後必要となる庁内対応や予定について情報共有する。

**(2) 令和5年度 組織定数ヒアリングについて**

令和5年度の組織・定数に関して実施するヒアリング日程について情報共有する。

**(3) 研修の実施(仮:こども政策の動向と今後の課題)について**

11月1日午前9時30分から管理職と市内学校管理職を対象に行う研修について情報共有を行う。

**(4) 令和4年12月定例会提出予定案件・所信表明事項及び原稿提出について**

議会関係資料の提出日程について情報共有する。

**4. その他**

**・東村山市国民保護体制について**

朝鮮民主主義人民共和国から発射された飛翔体が市内に着弾した事態が生じた際、国・都・市役割分担や求められる対応について、再確認を行う。

**・ワクチン接種について**

接種期間の短縮が見込まれるため、接種希望がピークとなる12月に市民センターを追加して集団接種会場とすることで、接種希望者が円滑に接種できる体制を構築する。

**・今後の経営会議について**

経営会議は令和4年1月25日以降、オンラインによる開催を継続してきたが、今後は案件の内容や感染状況を踏まえながら、対面開催かオンライン開催かを判断する。

**5. 閉会**